

農業・農村開発セクター援助実績とりまとめ表

開発戦略、援助方針等		有償		無償		技術協（プロ技）	技術協（開発調査）
（グイェト側）	（日本側）	金額	プロジェクト名	金額	プロジェクト名	プロジェクト名	プロジェクト名
90 年以前	なし					カントー大学農学部技術協力（70.3. - 75.5.）	
91（パリ和平協定）	第5次5カ年計画（農業セクターの開発目標）	なし					
92（援助再開）	・食糧自給と米の輸出促進 ・畜産物の増産と加工肉の輸出 ・ゴム、綿、茶、コーヒー等の輸出工業物の増産による外貨の獲得 ・未利用地の開発と植林	なし		3.33	中部高原植林機材整備計画 ^{*1} 草の根無償（クアンビン省タイチュレ村農業開発事業、等）		
	なし（「我が国の政府開発援助の実施状況に関する年次報告」参照）			7.88	カントー大学農学部改善計画（1/2期）		
94	・農村および山間部の社会経済開発 ・国営企業及び合作社の指導的役割とその維持改善	国別援助方針：（農業セクター） ・生産性向上のための農業インフラ（灌漑システム等）の整備 ・社会経済基盤の整備が遅れている地域では農業基盤整備に社会経済インフラ整備を伴う		2.35	カントー大学農学部改善計画（国債2/2期-1）		
95				12.83	カントー大学農学部改善計画（国債2/2期-2）		グアン省ナムダン県農業総合開発計画
				8.04	北西部植林機材整備計画（国債1/2） ^{*1}		
	第6次5カ年計画（農業セクターの開発目標） ・食糧保障 ・穀物、野菜生産の向上 ・食糧の質の向上 ・栄養失調の緩和 ・商品作物、果樹園の生産 ・牧畜の推進 ・海洋、島嶼、森林における潜在的な開発 ・生態学的農業の促進 ・農産品加工および輸出振興のための農作物生産 ・農村市場の拡大による農村収入の向上 ・社会経済インフラの整備	農業進地開発 ・ポスト・ハーベスト（貯蔵・流通・加工）の向上 ・農業生産の多様化を図るための農業技術の開発・普及等に資する協力 ・以上の協力により、地方における生活水準の向上を目指す。		5.71	北西部植林機材整備計画（11） ^{*1} 草の根無償（グアンフォン村貯水池・農道整備計画、等）	メコンデルタ酸性硫酸塩土壌造林技術開発計画	グアン省ナムダン県農業総合開発計画
96				2.52	タンチン地区農村排水改善計画（1/3期）	メコンデルタ酸性硫酸塩土壌造林技術開発計画	グアン省ナムダン県モデル農村開発計画調査
97				0.003	草の根無償（ドンザウ灌漑ポンプ場修繕計画）		
98				14.91	タンチン地区農村排水改善計画（2/3期）	メコンデルタ酸性硫酸塩土壌造林技術開発計画	ドンタップモイ農業開発計画調査
				0.005	草の根無償（グアン省ディエンホア村灌漑施設整備計画）	ハノイ農業大学強化計画	
99				0.029	草の根無償（ホア・タイン村ポンプ場整備計画、等）	メコンデルタ酸性硫酸塩土壌造林技術開発計画 ハノイ農業大学強化計画	ドンタップモイ農業開発計画調査
(2000)（暫定値）	国別援助計画	4.37	ファンリー・ファンディエット灌漑事業（E/S）			ハノイ農業大学強化計画 グイエトナム牛人工授精技術向上計画	グイエトナム国ドンタップモイ農業開発計画調査 グイエトナム国中部高原地域森林管理計画調査 ^{*1}
(2001)	第7次5カ年計画					ハノイ農業大学強化計画 グイエトナム牛人工授精技術向上計画	

（注）^{*1} 環境分野の案件

2. 現在のグイエトナム側、日本側双方の開発目標、開発戦略、重点項目等

（グイェト側）第7次5カ年計画に記載された当該セクターの開発目標、開発戦略、重点項目等（箇条書き）

「農業生産と地方経済の急激な構造転換を進める。また、天候、土地、労働における優位性を活かして特色ある農業生産地域を創出する。」（数値目標：年率4.8%以上の成長）

- ・人々を移住させ、土地の悪化を防ぐために未使用の土地を開墾する。
- ・非農業生産とインフラ整備を奨励し、農業セクターから非農業セクターへの人口移動を奨励することにより生活水準を上げる。
- ・集中的な耕作、生産性の向上、農産物の多様化によって、食糧生産を奨励し続ける。
- ・ゴム、コーヒー、茶などの競争力の高い産業農産物に集中する。また、野菜、果物、その他の有望な農産物を開発する。
- ・農業セクターにおいて畜産が重要。生産の再組織化、畜産を各戸レベル、農村レベルで実施する。
- ・「5百ヘクタール・プロジェクト」の実施により、森林を守る。
- ・岸釣り漁を奨励するとともに、沿岸漁業を調整する。
- ・集中的な耕作、収穫の向上、新しい耕作地の開拓を実現するために、かんがいネットワークを拡大する。
- ・遠隔地の交通インフラを早急に整備する、道路を整備する、送電網を整備する、安全な水供給を実現する。
- ・産業地区や手工業地区を創設する、その原材料となる植物を育成する、そのための技術を開発する。
- ・郵便局、カルチャーセンター、タウンシップ施設を整備して、社会生活水準を改善する。

（日本側）国別援助計画（2000年）に記載された当該セクターの開発目標、開発戦略、重点項目等

- ・農村水産業は、経済成長の核となる基幹産業として、また貧困対策としても支援を検討していくことが重要
- ・近年、市場経済化の導入により、コメ以外の穀類や商品作物生産の増大、果樹栽培面積の拡大、畜産及び水産業の伸び等により農村水産業セクター内の構造変化が起きつつある。こうした構造変化は農家の多角経営化、商業性の向上に資するものであり、このような変化に対し側面支援する必要がある
- ・具体的には農業部門の生産性の向上と、農産物の市場アクセスの確保を目的とし、灌漑排水等ハード面の整備、優良品種の導入、農業技術の開発・普及、流通システムの改善、農民の組織化及び農村金融制度の整備・拡充等に対する支援を検討する
- ・農村工業化等経営多角化により、農村の余剰労働人口を吸収し、農家所得向上を図るための支援も検討していく